

鳥取県の経済動向

鳥取県企画部統計課 (平成19年3月30日公表)

<http://www.pref.tottori.jp/toukei/>

- **需要面**・・・個人消費は一部に回復の動きが見られるが、総じて弱い動きとなっている。
大型小売店販売額、ホームセンター・家電量販店販売額とも前年を上回った。(1月)
用途別着工建築物工事金額、公共工事請負金額は前年を上回ったが、乗用車新車新規登録台数、新設住宅着工戸数は前年を下回った。(2月)
- **産業面**・・・横ばいからやや弱い動きとなっている。
鉱工業生産指数が電気機械工業等の減により前月を下回った。(1月)
- **雇用面**・・・おおむね横ばいとなっている。
現金給与総額、所定外労働時間とも前年を下回った。(1月)
求人倍率は、新規、有効とも前月を上回った。(2月)

○需要面の動き

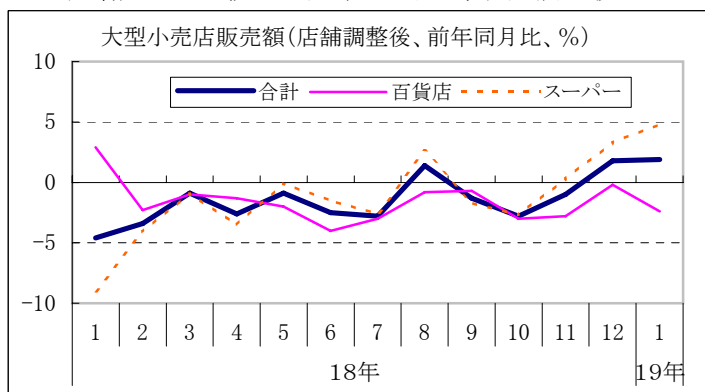
大型小売店販売額(1月)

全店舗の販売額は、66億303万円(前年同月比1.9%増)と2か月続いて前年を上回り、店舗調整後でも2か月続いて前年を上回った。

販売額及び前年同月比

	販売額(万円)	前年同月比
合計	660,303	1.9 (1.9)
百貨店	249,067	▲2.4 (▲2.4)
スーパー	411,236	4.8 (4.8)

()内は店舗調整後の数値



ホームセンター・家電量販店販売額(1月)

30億7,148万円(前年同月比4.5%増)と3か月続いて前年を上回った。

乗用車新車新規登録台数(2月)

2,212台(前年同月比6.4%減)と8か月続いて前年を下回った。
減少の内訳では、小型車の減少(前年同月比10.3%減)が大きかった。

新設住宅着工戸数(2月)

301戸(前年同月比19.3%減)と2か月ぶりに前年を下回った。減少の内訳では、貸家の減少(前年同月比63.1%減)が大きかった。

用途別着工建築物工事金額(2月)

18億2,277万円(前年同月比24.9%増)と2か月ぶりに前年を上回った。用途別では、医療、福祉用(前年同月比174.6%増)等が前年を上回った。

公共工事請負金額(2月)

102億3,400万円(前年同月比68.8%増)と3か月ぶりに前年を上回った。発注者別の内訳では、国の増(前年同月比102.4%増)が大きな割合を占めた。

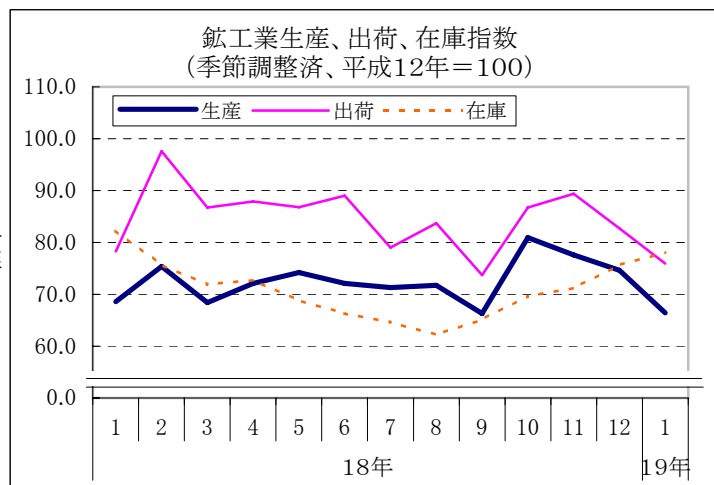
○産業面の動き

鉱工業指数(1月)

生産指数(季節調整済)が66.4となり、前月比は11.0%下落し、原指数では60.2となり、前年同月比で1.5%低下した。

内訳を前月比で見ると、電気機械が液晶素子等の生産減により18.4%低下、食料品・たばこが5.3%低下、一般機械が23.5%低下、繊維が6.7%低下した。

在庫指数(季節調整済)は78.1と前月比3.3%上昇した。



大口需要電力実績(1月)

138,118千kwh(前年同月比0.5%増)と4か月続いて前年を上回り、鉱工業はパルプ・紙等で増となり1.4%増加した。

青果物卸売量(2月、鳥取市場)

野菜が1,247t(前年同月比8.8%減)と3か月ぶりに前年を下回り、果実は673t(前年同月比12.3%減)と9か月続いて前年を下回った。

漁獲量(2月、境港)

8,016t(前年同月比58.0%増)と7か月続いて前年を上回った。

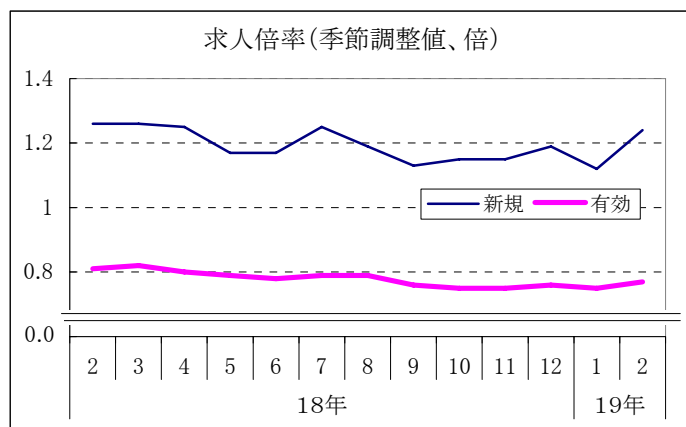
○雇用・金融面の動き

新規求人倍率(2月)

1.24倍(前月差0.12ポイント上昇、前年同月差0.02ポイント低下)であった。なお、新規求人数は、4,710人で前年同月比6.1%の増であった。

有効求人倍率(2月)

0.77倍(前月差0.02ポイント上昇、前年同月差0.04ポイント低下)と9年続いて1.0倍を割っている。



現金給与総額(1月)

255,985円(前年同月比1.1%減)と7か月続いて前年を下回った。そのうち、きまって支給する給与は、250,471円で7か月続いて前年を下回った。

所定外労働時間(1月)

9.2時間(前年同月比4.6%減)と2か月ぶりに前年を下回った。主力の製造業は11.7%減となった。実数による前年同月比では、運輸業(前年同月比22.3%増)等で前年を上回り、飲食店、宿泊業(前年同月比35.5%減)等で前年を下回った。

預金・貸出金残高(1月末)

預金残高は、1兆8,394億円(前年同月比1.6%増)と5か月続いて前年を上回り、貸出金残高は、1兆1,611億円(前年同月比2.5%減)と5か月続いて前年を下回った。

○参考

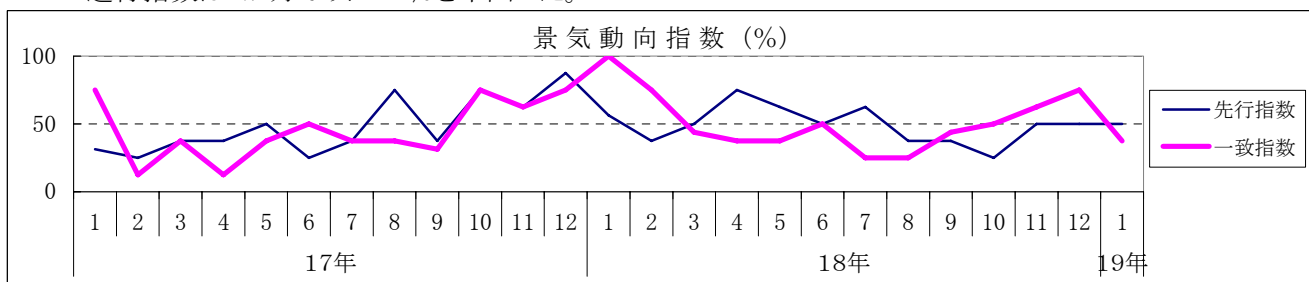
鳥取県景気動向指数(1月)

先行指数50.0%、一致指数37.5%、遅行指数40.0%となった。

先行指数は3か月続いて50%となった。

一致指数は4か月ぶりに50%を下回った。

遅行指数は4か月ぶりに50%を下回った。



企業倒産(2月)

件数は4件(前年同月比33.3%減)で6か月ぶりに前年を下回り、負債総額は11億7,000万円(前年同月比122.0%増)で4か月ぶりに前年を上回った。

消費者物価指数(2月、鳥取市、総合、平成17年=100)

98.5となり、前月比(0.7%下落)は3か月ぶりに下落し、前年同月比(0.8%下落)は6か月続いて下落した。

鳥取県の推計人口(3月1日現在)

602,717人で、前月と比べて501人(0.08%)減少し、前年同月と比べて3,301人(0.54%)減少した。

鳥取県企業経営者見通し調査(平成19年2月調査)

平成19年4~6月期は、平成19年1~3月期に比べると景気はやや好調であるが、売上高、経常利益はやや不調となる見通しとなっている。